

syngenta®

Sustainability priorities



<https://www.syngenta.com/sustainability>

シンジェンタは持続可能性を戦略の中核として取り組んでおり、SDGsに貢献しています。

(公社) 日本しろあり対策協会
(公社) 日本木材保存協会

匠

しろあり成敗

小型・軽量

安心感

超低臭

の技



アルトリセット® 匠
400SC

syngenta®

PLINAZOLIN® technology

アルトリセツト[®] 匠

400SC

シロアリ防除剤

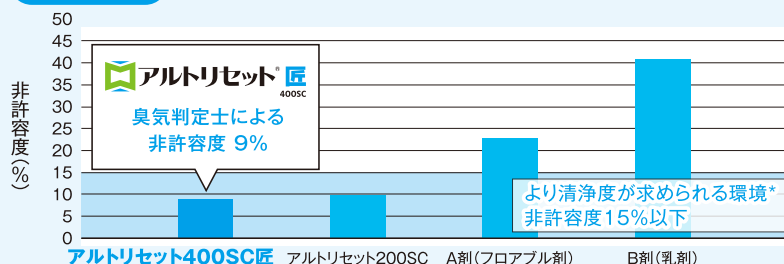
- ◇ 認 定：(公社)日本しろあり対策協会 登録番号3546号
(公社)日本木材保存協会 認定番号A-4289
- ◇ 包 装：250ml/本
- ◇ 有効成分：一般名:イソシクロセラム
34.7%w/w、40.0%w/v
- ◇ 剤 型：フロアブル剤
- ◇ 性 状：オフホワイト懸濁液

使用方法 薬剤をよく振り混ぜてから、下記希釈表に従い、水で規定の倍率に希釈して散布してください。

散布場所	散布方法	希釈倍率	散布量
土壌表面	帯状散布	800倍 (原液250mlで約200Lの希釈液を調整)	1 L/m 20cm幅
	面状散布		3 L/m ²
コンクリート 表面	帯状散布	800倍 (原液250mlで約200Lの希釈液を調整)	1 L/m 20cm幅
	面状散布		3 L/m ²
	帯状散布	267倍 (原液250mlで約67Lの希釈液を調整)	0.33 L/m 20cm幅
	面状散布		1 L/m ²

製品の特徴

超低臭性 超低臭性のため、お施主様をはじめ施工者の皆様にも不快な気分を与えません。



試験方法:
1. 1m³チャンバー内のトレイ上に規定倍率の希釈液を3L/m²処理し、1時間静置した。
2. チャンバー内の空気を採取した。
3. 22名の臭気判定士による容認性評価*を実施した。
*日常生活においてこの空気の部屋に頻繁に入らなければならないことを想定し、「受け入れられる」又は「受け入れられない」のどちらかで回答を行い、非許容度(%)を算出した。
日本建築学会基準(AJES-A0003-2019)
・より清浄なおい環境:非許容度15%以下
試験機関 株式会社環境管理センター

臭気判定士の91%が、アルトリセツト400SC施工後の臭気について受け入れられると回答しました。
日本建築学会が示す基準に基づき、本薬剤施工後の空間は『より清浄なおい環境』の基準を満たす数値を示しました。

低揮発性 空気中に蒸散しにくい有効成分を使用しています。

測定地点	散布1時間後	散布3時間後	散布6時間後	散布24時間後
床上20cm	0.000009	ND	ND	ND
床上150cm	0.000002	ND	ND	ND
通気口付近	0.000005	ND	ND	ND

試験機関 株式会社化学分析コンサルタント

NDは検出限界以下を示す

試験方法:
ベタ基礎一面に希釈液を散布した後に、各測定地点においてそれぞれ100Lの空気を取り、空気中の有効成分濃度を測定した。
試験場所 東京都小平市 ベタ基礎住宅
供試薬剤 アルトリセツト400SC匠
処理濃度/散布量 267倍希釈, 1L/m² (高濃度少量散布)
濃度単位mg/L、定量限界 1×10^{-7} mg/L
(参考データ)イソシクロセラムの急性吸入毒性 $LC_{50} > 4.62$ mg/L

薬剤成分が揮発しやすい条件であるベタ基礎住宅施工において、薬剤散布1時間後では極微量に有効成分が検出されたものの、その後速やかに濃度減少がすみ、散布3時間後には屋内空間のイソシクロセラム濃度は検出限界未満($< 1 \times 10^{-7}$ mg/L)となりました。そのため、本薬剤施工による居住者への影響は極めて小さいことが示唆されました。

確かな効果

- 非忌避性&遅効性なので、殺虫成分がシロアリの巣まで持ち帰られる(伝播性)ことで、シロアリ根絶に期待できます。
- クロアリやムカデに対しても高い殺虫効果が期待できます。

信頼できる安全性

- シックハウス症候群関連物質(VOC13)を含有しておりません。
- 毒物および劇物取締法の「毒物」および「劇物」のどちらにも該当しておりません。
- 消防法上の「危険物」にも該当しておりません。
- 本製品は国際的に認められた食品安全管理システムであるHACCP認証を取得しております。



1. 使用前に必ずラベルをよく読んでください。
2. 用法・用量を遵守し、必要量だけ調整して使い切ってください。
3. 養魚池・井戸・地下水等の汚染の恐れのある場所、蜜蜂・蚕・水棲生物等に被害を及ぼす恐れのある場所では使用しないでください。
4. 体調のすぐれない人・妊婦・乳幼児等に影響がないよう施工方法に配慮してください。
5. 食品・食器・家財・動植物等に薬剤がかからないよう十分に注意してください。
6. 食品やその調理および保管場所など食品にかかわる場所(動物用も含む)の近くで、本剤を処理しないでください。
7. 必要な場合のみ散布を実施してください。むやみな使用をお控えください。

シンジェンタ ジャパン株式会社

プロフェッショナル ソリューション事業本部
〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワー X21階
TEL:03-6221-3802 FAX:03-6221-3899 www.syntenta.com

®はシンジェンタ社の登録商標です。

syngenta

シンジェンタは持続可能性を戦略の中核として取り組んでおり、SDGsに貢献しています。

Sustainability priorities



<https://www.syngenta.com/sustainability>

お問い合わせ/
製品情報はこちら

